

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	博愛福祉会	代表者	大西弘文	法人・事業所の 特徴	日の出医療福祉グループとして、住み慣れたご自宅・地域での生活のため、お客様一人ひとりに合わせたサービス提供に努めています。また、お客様や家族様の要望に柔軟に対応するとともに、残存機能の維持向上・自立支援に努め、在宅生活が継続できるよう取り組んでいます。
事業所名	ゆとり庵福田	管理者	山本滋		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	1人	人	0人	1人	0人	2人	0人	6人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員全員が、すべての利用者様に対して統一した支援が行えるように、情報収集と共有を図る。	日々のミーティングを怠らずに実施できた。その中で、情報共有することができた。	自己評価シートなど拝見し、しっかりまとめておられる印象を受けました。	ミーティング内容の質の向上。同じリスクを繰り返さないようにリスク発生時の共有と原因・対策を明確にする。
B. 事業所のしつらえ・環境	感染症対策の徹底を継続し、安心して利用してもらえる環境を整える。	ノロウイルス感染者が出てしまい、他の利用者様や家族様に負担をかけてしまった。	見栄えや臭いに関して、特別気になる点はなかったです。また、明るい雰囲気である印象を受けました。	整理整頓を心がける。来所、帰宅される際は笑顔で挨拶をし、明るい雰囲気作りに務める。
C. 事業所と地域のかかわり	新型コロナウイルスとの関りを考慮しながら、地域との関係性を構築する。	運営推進会議や地域行事に参加し、地域の方への情報発信ができた。また、掲示板を設置し、行事の提示ができた。	地域行事への参加されていると思いました。また、研修や会議などで、地域資源の内容など情報交換が大事である。近辺であれば、ゴミ出しなどのサービスもあります。	積極的に地域との交流を図り、利用者様に喜ばれる関わりをしていく。また、よりよいサービス提供をしていくため、社会資源等の情報収集を行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	地域社会との関りを意識した支援を行えるよう取り組む。	地域行事への参加は可能な範囲で参加できた。利用者様以外の方との関わりはできなかった。	地域の行事への参加されていると思いました。地域の行事以外でもドライブに行くなども利用者様は喜ばれると思います。	地域の行事以外でもドライブをする、スーパーなど買い物を一緒に行くなど事業所外への活動を増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議が開催できるように時間や場所、方法を検討する。	運営推進会議にできるだけ多く参加できるように声かけを行った。実際は参加人数が少ないことがあった。	運営推進会議の回数を重ねていくごとにどのような活動をしているか、把握することができ、有意義な会議であると感じています。	利用者様のご家族様にも参加を促し、より活発的な会議にできるように心がける。
F. 事業所の防災・災害対策	BCP計画の周知徹底を行い、非常時に備えてシミュレーションを行う。	対策としてプランをたてることができた。しかし、備蓄関係など不十分な部分があった。	ハザードマップは確認した方がいいです。地域との連携も強化し、避難場所などの想定も必要です。備蓄関係は量的な部分も含めて随時検討が必要です。	ハザードマップの確認をする。避難場所の確認。災害時の対策を全スタッフに共有する。